



国土の緑化・国産材

森林・林業再生を地域一体で進める森林づくり



コンテナ苗(住田町)



高性能林業機械(陸前高田市)



五葉山のツツジ



末崎中学校体験林業(大船越市)



林野庁 東北森林管理局
三陸中部森林管理署



東北森林管理局 三陸中部森林管理署

ご説明の内容

- 1 日本の森林について(森林の現況・木材需給)
- 2 国有林について(現況・目的・森林林業再生)
- 3 森林計画制度について(意義・仕組み・住民懇談会)
- 4 大槌・気仙川森林計画区の事業について
(特徴・資源の状況他)
- 5 特徴的な取り組みについて(技術開発・森林環境教育・
民国連携)
- 6 新計画策定について(基本的な考え方)

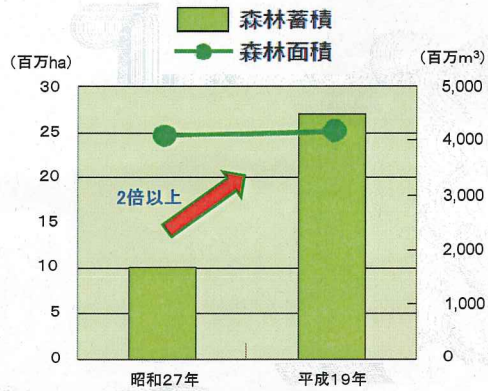
日本の森林について

●日本の森林
約2,510万ha
(国土面積の7割)

●民有林
約1,740万ha(約7割)

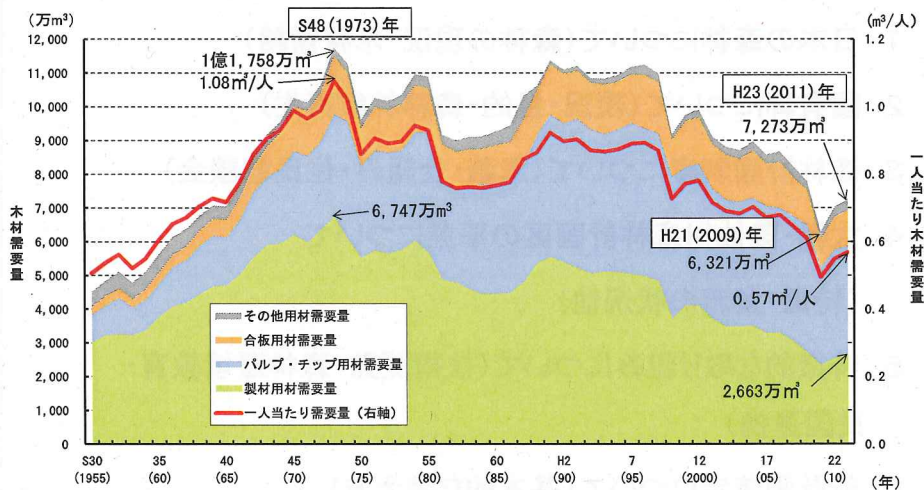
●国有林
約770万ha(約3割)

森林資源量の推移



※昭和27年の森林面積の統計がないので、昭和26年8月1日現在の数値を使用

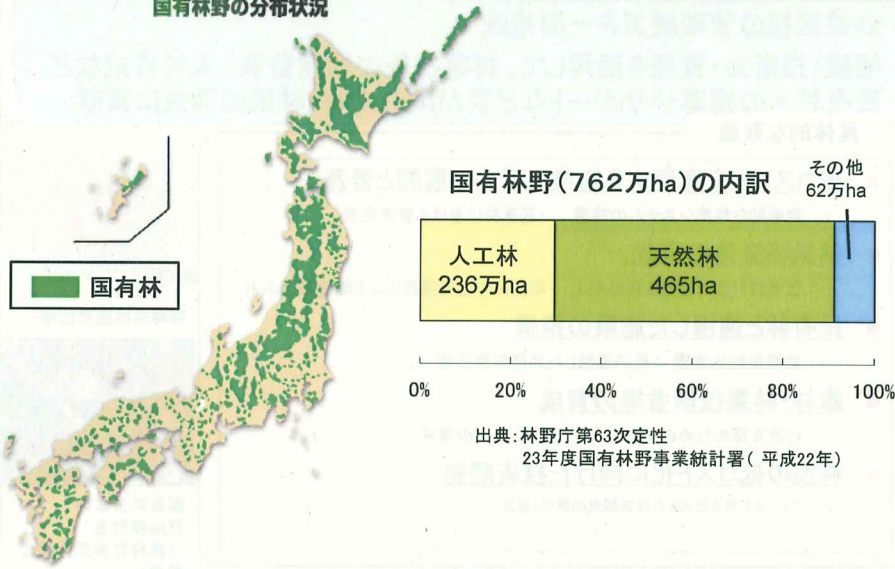
木材需要量の推移



木材需要量の推移

● 国有林とは

国有林野の分布状況



6

● 国有林の目標

● 目 標

1. 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
2. 林産物の持続的かつ計画的な供給
3. 国有林野の活用により地域の産業の振興または住民の福祉の向上への寄与

基本方針に即した管理経営

1. 公益重視の管理経営の一層の推進
2. 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献
3. 国民の森林としての管理経営等

6

森林・林業再生に向けた国有林の取組

- ◆ 公益重視の管理経営を一層推進
- ◆ 組織・技術力・資源を活用して、林業技術の開発普及、人材育成など
民有林への指導やサポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献
具体的な取組

- **低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及**
 - 効率的な作業システムの推進 ・民有林における普及定着
- **林業事業体の育成**
 - 現地検討会による技術の向上 ・事業体の施業提案による総合評価入札
- **民有林と連携した施業の推進**
 - 施業集約化支援 ・民国連携した共同施業団地
- **森林・林業技術者等の育成**
 - 行政支援のためのフォレスター・プランナーの育成
- **林業の低コスト化に向けた技術開発**
 - フィールド等を活用した技術開発の推進・普及



7

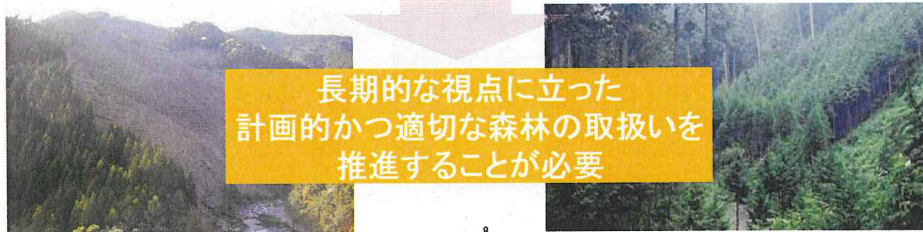
● 森林計画の意義

無秩序な
森林の開発 → 森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因

無計画な伐採 → 森林資源を減少させ、林産物供給の面でも大きな混乱をきたすおそれ

森林の造成には超長期の年月を要する
国民経済に大きな影響

長期的な視点に立った
計画的かつ適切な森林の取扱いを
推進することが必要



8

● 森林計画の区域

● 森林計画区域の設定

農林水産大臣が
都道府県知事の意見を聞き、
地勢その他の条件を勘案し、
主として流域別に都道府県の
区域を分けて定めている

全国で158森林計画区を設定

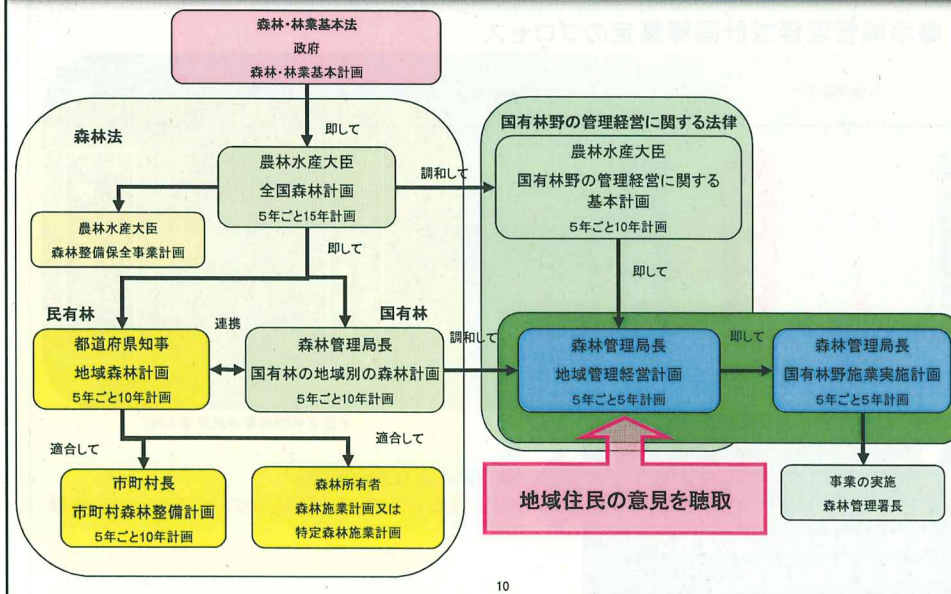
うち東北森林管理局管内に
17森林計画区

うち岩手県内に
5森林計画区

東北森林管理局管内【17計画区】



● 森林計画の体系



● 地域管理経営計画の主な内容

I 管理経営に関する基本的な事項

1. 基本方針(持続可能な森林経営の実施方向 等)
2. 機能類型に応じた管理経営(地区ごとの機能類型の方向 等)
3. 流域管理システムの推進(民国一体となった取組 等)
4. 主要事業量(伐採総量、更新総量 等)
5. その他(地球温暖化防止、生物多様性の保全 等)

II 国有林野の維持及び保存

1. 巡視(境界の保全管理 等)
2. 森林病虫害の駆除(松くい虫、ナラ枯れ対策 等)
3. 特に保護を図るべき森林(保護林、緑の回廊 等)
4. その他(希少な野生動植物の保護 等)

III 林産物の供給(木材の安定的な供給 等)

IV 国有林野の活用

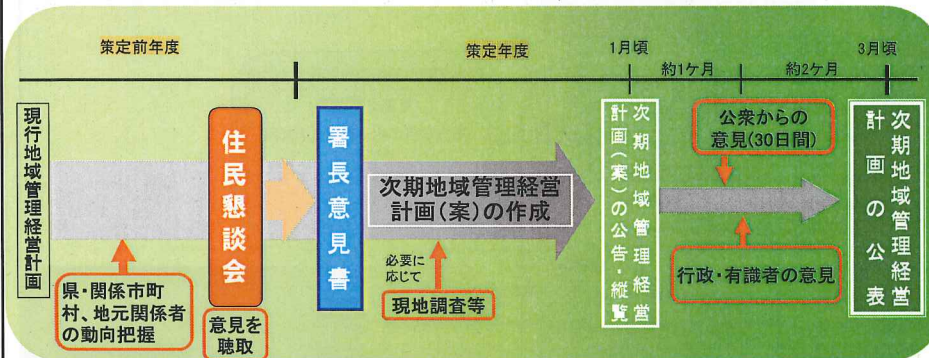
V 公益的機能維持増進協定(介在する民有林も一体的に整備)

VI 国民参加による森林整備(森林環境教育の推進 等)

11

● 森林計画策定の仕組みと住民懇談会の位置付け

● 地域管理経営計画等策定のプロセス



* 国有林野施業実施計画も同じ

● 住民懇談会の位置付け

地域管理経営計画等の計画策定手続き前に多様な関係者が一堂に会する場を設定

- ◆ さまざまな地域情報
- ◆ 多様な地域住民・関係者の意見を収集・反映

12

●大槌・気仙川森林計画区の特徴



●位置: 岩手県の南東部に位置し、北上高地から太平洋沿岸に向けて東傾している一帯。

●特徴: 五葉山・片羽山をはじめ、種山高原など優れた景観を有し、希少種であるイヌワシの全国有数の繁殖地である。

地形は一般に急峻で、特に沿岸部は急傾斜の地形が多い。

●計画区内の国有林

➢大槌川・小釜川・甲子川・気仙川・盛川の流域
= 河口部に主要市町が位置し水道用水や産業用水の水源として重要

➢五葉山県立自然公園や北上高地緑の回廊など
= 豊かな自然景観に恵まれた森林が多い

➢豊かな動物相
= イヌワシ(絶滅危惧種)・シカ

13

●大槌・気仙川森林計画区の市町面積

市町村名	市町村面積	森林面積	民有林	国有林 (官行造林含む)	森林率 (%)	国有林率 (%)
大槌町	20,059	17,816	8,798	8,994	89	50
釜石市	44,143	39,373	29,247	10,126	89	26
住田町	33,483	30,076	22,648	7,428	90	25
大船渡市	32,330	26,530	24,696	1,825	82	7
陸前高田市	23,229	18,857	17,124	1,605	81	9
計	153,244	132,652	102,513	29,978	87	23
(参考)岩手県	1,527,877	1,174,467	786,131	388,336	77	33

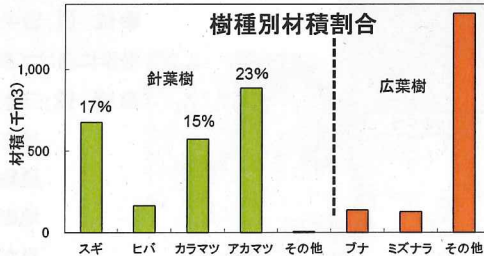
国有林面積については平成22年3月31日現在
市町面積、民有林面積は『平成23年度版岩手県林業の指標』より抜粋

14

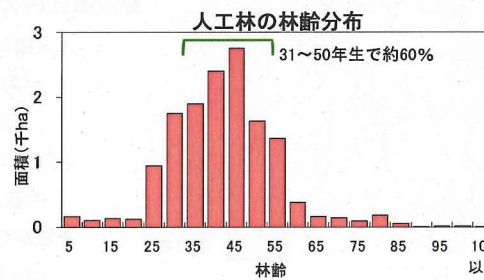
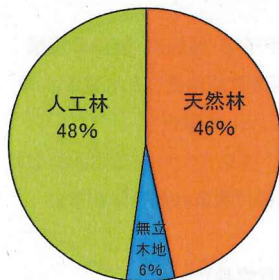
● 森林資源の状況

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

区 分		面積 (ha)	材積 (千m ³)
林地	人工林	14,334	2,217
	天然林	13,935	2,053
	竹林	2	0
	無立木地	1,707	0
	計	29,978	4,270



人工林・天然林面積比率



● 機能類型区分について

公益機能重視の管理経営方針を一層推進するため、新たに、森林の機能に応じた5タイプに区分し適切な施業の推進を図る。

山地災害防止タイプ

・ 下層植生と樹木の根茎が発達し、
土壌保持能力の優れた森林
6,759Ha



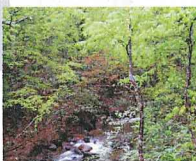
自然維持タイプ

・ 原生的な森林生態系や希少な野生
生物の生息に適した森林の維持
2,721Ha



森林空間利用タイプ

・ 保健・文化・教育的利用の形態に応じ
た多様な森林 540Ha



快適環境形成タイプ

・ 汚染物質の高い吸着性や抵抗性
のある樹種から構成される森林

水源涵養タイプ

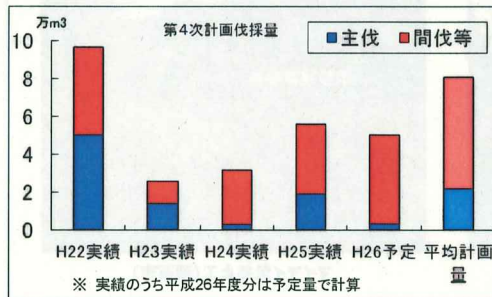
人工林の間伐や長伐期化、広葉樹の導入
による育成複層林化による水源涵養機能
を第一とする森林 19,037Ha

● 計画区の伐採量

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

● 伐採量：

伐採種	計画量 (H22～H26)	実績 (H22～H26)	計画比
主伐	108,330m ³	88,152m ³	81%
間伐	294,400m ³	171,198m ³	58%
合計	402,730m ³	259,350m ³	64%



高性能林業機械による間伐

17

● 計画区の造林量

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

● 造林量：

作業種	計画量 (H22～H26)	実績 (H22～H26予定)	計画比
人工造林(新植)	301ha	122ha	41%
天然更新	0ha	0ha	
下刈	1,085ha	762ha	70%
つる切り・除伐	227ha	773ha	341%
合計	1,613ha	1,657ha	103%



● 計画区のその他の事業量

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

林道等建設延長				治山施設延長			
	計画量 (H22~H26)	実績 (H22~H26予定)	計画比		計画量 (H22~H26)	実績 (H22~H26予定)	計画比
新設	5,000m	3,890m	78%	保安施設 (治山ダム等)	15箇所	9箇所	60%
林道改良	1,495m	1,288m	86%	保安林整備	578ha	564ha	98%
災害復旧		244m		災害復旧			



施工中の天望沢林道新設工事（住田町）



マイマイ沢谷止工(釜石市)

● 管内の保護林

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に資することを目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、保護を図っている森林



保護林名	特徴	面積
五葉山植物群落保護林	コメツガとヒバを主とする天然林およびゴヨウザンヨウラク等の貴重な植物群落を有する。	1,951 ha
橋野鉄鉱山郷土の森	現存最古の洋式高炉である橋野高炉跡の景観の保全、学習の場として設定	463 ha



管内の緑の回廊

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

野生生物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促し、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図っている森林

名称	内容	面積	延長
北上高地緑の回廊	岩手県久慈市の平庭岳から大船渡市の毛無森山まで約2kmの幅で延長約150km森林の連続性を確保している。	3,350ha	16km





イヌワシ



カモシカ



クマ



ココワの実

21

管内のレクリエーションの森

計画期間 平成22年4月 1日
平成27年3月31日

国民の保健・文化的利用を積極的、計画的に推進するための森林

名称	特徴	面積
自然観察教育林 五葉山	自然科学教育や自然観察に適している森林	1281ha
風景林 金沢大滝 浪板不動滝	名所、旧跡等と一体になって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林	6ha
		3ha



五葉山自然観察教育林



金沢大滝



22

管内の特徴的な取組 1

東日本大震災からの復興への貢献 ①



養殖用いかだ材の供給
(住田町 小股国有林)



養殖用いかだの組立て
(陸前高田市 広田湾漁協)

東日本大震災の津波により、三陸沿岸の養殖用いかだが壊滅的な被害を受けたことから、いかだ用材として国有林材を供給。(平成23年12月)

23

管内の特徴的な取組 1

東日本大震災からの復興への貢献 ②



安定供給される国有林材
(住田町 種山国有林)



橋野高炉跡地 橋野鉄鉱山郷土の森
(平成24年4月設定 釜石市橋野町)



震災復興による国産材の木材需要の増大に資するため、品質の安定した供給体制を民有林と連携して構築していく取組。

また、「橋野鉄鉱山郷土の森」を活用した被災地域の復興への寄与など。

24

● 管内の特徴的な取組 2

イヌワシの餌場作りのための等高線方向列状間伐



写真はイメージです。

日本のイヌワシは餌不足などにより
絶滅の危機



狩場環境を作るため列状間伐を実施
通常の列状間伐は**斜面垂直**に伐採
本取組みではイヌワシの
飛翔特性に合わせ、
全国初の斜面横方向伐採



**下層植生が繁茂しエサ動物が増加、
イヌワシのハンティング行動も確認**

● 管内の特徴的な取組 3

シカ被害防除対策



管内の特徴的な取組 4

コンテナ苗による低コスト造林



育苗管理の利点や、土ごと植えることで活着率が良く、植栽時期の拡大などのメリットがあることから、実用化に向けた取組をしています。

27

管内の特徴的な取組 5

松くい虫等の病虫害対策



現在太平洋沿岸の松くい虫被害の北限は、当署管内にあります。被害の北上を食い止めるために巡視活動を強化し、松くい虫被害木を発見した場合は全て駆除しています。

28

● 管内の特徴的な取組 6

民有林と連携した森林づくり



釜石市初神上台地域 森林整備協定の締結（平成24年3月）



共同施業団地における現地検討会（平成25年9月）

間伐等を積極的に推進していくため、隣接する民有林と国有林を協定に基づき団地化し、路網や土場敷を相互利用することにより、作業の効率化・低コスト化を図る取組。

● 管内の特徴的な取組 7

「遊々の森」を活用した地元中学校の林業体験



伐倒方向よし！！



苗木保護ネットの設置

大船渡市立末崎中学校と「遊々の森」の協定を締結し、国有林をフィールドとした植樹活動などの支援を行っています。今年度は3年生50名が「海を守る」をテーマに、下刈・間伐などの林業体験を実施しました。

● 新計画策定に向けての署(署長意見書)の基本的考え方

① 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

●地球温暖化防止対策も含めた森林整備の推進、震災復興に資する計画的な木材供給、民間連携した森林共同施業団地の推進、准フォレスタ―による市町村森林整備計画の策定のバックアップ等、林業再生に向け取り組みます。



② 豊かな自然環境の保全管理

●当計画区には、優れた景観を有する貴重な天然林等が存在し、またイヌワシ等の希少野生動植物が数多く生息していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その特性に応じた保全管理に努めます。



● 新計画策定に向けての署(署長意見書)の基本的考え方

③ 山地災害の防止と病虫獣害対策の徹底

●山地災害のおそれのある箇所には、適切な治山事業を計画し、下流域の安全・安心の確保に努めます。

また、当計画区では、松くい虫やシカ等の病虫獣害対策について、日常の巡視強化による早期発見、被害拡大防止に向け、県や関係市町等と連携した取り組みを行います。



木製残存型柵



薬剤処理



国民の森林 国有林

次代に引き継ぐ国民参加の森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁 東北森林管理局
三陸中部森林管理署